

2 歴史・伝統行事

岡山にはどんな歴史があるの？



1 成り立ち

| | |
|---------|---|
| 弥生時代 | (紀元前3世紀～) 西日本屈指の複合集落遺跡百間川遺跡群 ※弥生時代の豊かさを物語る遺跡群。岡山県は弥生時代の先進地域 |
| 古墳時代 | 5世紀代 大和朝廷に対抗できる力を持つ「吉備国」の繁栄を示す巨大古墳の築造 造山古墳／岡山市（全国第4位の規模） 作山古墳／総社市（全国第9位の規模） |
| 飛鳥時代 | 7世紀 吉備は備前、備中、備後の3国に分割 |
| 奈良時代 | 713 備前国の北部を割いて美作国 <small>みまさかのくに</small> をおく |
| 鎌倉・室町時代 | 1573 宇喜多直家が岡山城に入り、城下町の建設を始める |
| 安桃山時代 | 1597 宇喜多秀家により、天守閣を含む岡山城が完成 |
| 江戸時代 | 1603 池田忠継が備前28万石を、森忠政が美作18万6千5百石を領する 1616 津山城完成 |
| 明治 | 1876 岡山県創立 |

2 トピックス

| | |
|---------|---|
| 飛鳥時代 | 7世紀 鬼ノ城築造 695 吉備真備が生まれる（遣唐使を務めるなど、中央政界で活躍） |
| 奈良時代 | 733 和気清麻呂が生まれる（長岡京の造営など、中央政界で活躍） |
| 平安時代 | 1133 浄土宗の開祖・法然が生まれる 1141 臨済宗の開祖・栄西が生まれる 1184 藤戸の合戦で源氏が平氏を破る |
| 鎌倉・室町時代 | 1420 雪舟が備中国赤浜に生まれる |
| 安桃山時代 | 1582 羽柴（豊臣）秀吉が高松城を水攻めにする |

| | | |
|------|------|-------------------------|
| 江戸時代 | 1645 | 宮本武蔵が没する |
| | 1670 | 閑谷学校が開校 |
| | 1700 | 後樂園が完成 |
| | 1850 | 山田方谷、備中松山藩の藩政改革に着手 |
| 明治 | 1887 | 石井十次が岡山に孤児院を創設 |
| | 1891 | 山陽鉄道（現在の山陽本線三石～笠岡間）が開通 |
| 大正 | 1917 | 民生委員制度の前身となる「済世顧問制度」の創設 |
| 昭和 | 1930 | 日本初の西洋美術館・大原美術館が開館 |
| | 1953 | 水島臨海工業地帯の造成開始 |
| | 1962 | 第17回岡山国体 |
| | 1972 | 山陽新幹線の新大阪～岡山間が開通 |
| | 1988 | 新岡山空港が開港、瀬戸大橋開通 |
| 平成 | 2004 | 岡山県立図書館が開館 |
| | 2005 | 晴れの国おかやま国体・輝いて！おかやま大会 |
| | 2009 | 第26回全国都市緑化おかやまフェア |
| | 2009 | 岡山市が政令指定都市へ移行 |
| | 2010 | 第25回国民文化祭・おかやま2010 |
| | 2013 | 美作国建国1300年 |

3 伝統行事

①国指定重要無形民俗文化財

・白石踊（笠岡市）

源平合戦の戦死者を弔うために始められたとの伝承があります。男踊・女踊・笠踊・娘踊の組があり、一つの音頭で各組が異なる踊りをするのは、他に類例が少なく貴重です。

・備中神楽（備中地方（総社市、高梁市、新見市、井原市など））

江戸時代後期に国学者の西林国橋によって、「古事記」「日本書紀」の神話を基に創作され芸能的要素の強いものとなりました。胴丸太鼓の音に合わせて舞う岡山県の代表的な民俗芸能です。

・大宮踊（真庭市）

蒜山地域で催される素朴で優雅な盆踊り。老若男女が円形に輪を作り、“あおい” “しっし” “まねき” の三種を踊ります。

②県指定重要無形民俗文化財

・西大寺の会陽（岡山市）

毎年2月の第3土曜日の夜、2本の宝木（しんぎ）を裸の群衆が奪い合います。別名“裸祭り”と呼ばれています。

・吉備津彦神社の御田植祭（岡山市）

御斗代（みとしろ）神事と御幡（おはた）献納祭の二つからなり、御斗代神事がお田植え祭りで、御幡献納祭は病虫害除けと悪疫退散の信仰からといわれています。

・鴻八幡宮祭りばやし（倉敷市）

各町内からのだんじりの進行に合わせて演奏され、「だんぎれ囃子」「祇園囃子」など7曲が伝承されています。

- ・唐子踊（瀬戸内市）
疫神社の秋祭りに奉納される踊りで、朝鮮風の衣装を身に付けた2人の子供が、異国情緒たっぷりに舞う踊りです。
- ・横仙歌舞伎（奈義町）
那岐山山麓地域横仙に古くから伝わる歌舞伎で、囃子や義太夫・役者もすべて地元の保存会の人々で演じられています。
- ・誕生寺二十五菩薩練供養（久米南町）
法然上人の両親を供養するため元禄13年（1700年）から続いている伝統行事です。
- ・二上山護法祭（美咲町）
齋戒沐浴した行者（護法実=ごほうざね）が神懸かりとなって、本堂前の境内を縦横無尽に走り回る奇祭です。
- ・加茂大祭（吉備中央町）
近郷8社から神輿が集まって行われる寄せ宮祭りで、典雅で荘厳な神事絵巻が繰り広げられます。

【もっとある県指定重要無形民俗文化財】

吉備津神社の宮内踊・志呂神社御供・建部祭り（岡山市）／高田神社獅子舞・八幡神社および物見神社の花祭り・新野まつり（津山市）／大島の傘踊（笠岡市）／糸崎八幡神社・中山天神社の神事（井原市）／新本両国司神社赤米の神饌（総社市）／太鼓田植（新見市）／福石荒神社神楽獅子舞（備前市）／弘法寺練供養・太刀踊（瀬戸内市）／吉念仏踊（真庭市）／梶並神社の当人祭・美作町の地下芝居・天曳神社宮原獅子舞（美作市）／布施神社のお田植祭（鏡野町）／バンバ踊・清水寺護法祭（久米南町）／境神社および八幡神社の獅子舞（美咲町）／吉川八幡宮当番祭・川合神社夏祭のだし（吉備中央町）

4 国宝

① 絵画

- ・「紙本墨画淡彩山水図 雪舟筆」 個人蔵（京都国立博物館保管）
- ・「絹本著色宮女図（伝桓野王図）」 個人蔵（京都国立博物館保管）

② 工芸品

- ・「赤韋威鎧 兜、大袖付 附唐櫃」 岡山県蔵（岡山県立博物館保管）
- ・「太刀 銘吉房」 林原美術館蔵
- ・「太刀 銘備前国長船住左近将監長光造」 林原美術館蔵
- ・「短刀 無銘正宗（名物九鬼正宗）」 林原美術館保管
- ・「太刀 無銘一文字（山鳥毛）附 打刀拵」 個人蔵（岡山県立博物館保管）

③ 建造物

- ・「吉備津神社本殿及び拝殿」 吉備津神社所有
- ・「旧閑谷学校講堂」 岡山県所有